

諏訪地方社保協 ニュース

諏訪地方社会保障推進協議会
2025年4月18日発行
11 - No.6
下諏訪町矢木町 214 南信勤医協内
TEL : 0266-28-3071(代)
メール: suwasyahokyo2021@skhp.or.jp
ホームページ: “諏訪社保協”で検索

福祉医療を国の制度として確立し、国保への ペナルティ廃止を求める陳情 諏訪 5市町村 で採択！ 国へ意見書提出 県内では17議会

社保協は3月市町村議会に「福祉医療給付制度を国の制度として確立することと医療費助成に係る国保の国庫負担減額措置（ペナルティ）をすべて廃止することを求める陳情」を提出し、5市町村で意見書採択となりました。以下は各議会での様子。

原村議会 「村も国庫負担減額調整措置の対象となっているのか」「子ども医療費は18歳までを対象とするのか」「県や国への要望活動もしているのか」等出され全会一致採択。

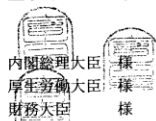
諏訪市議会 「子どもの医療費制度が他のひとり親家庭や障がい者の制度に比べ進んでいるのは何故」「窓口無料の進んだ地域と進んでいない地域の違いは」等出されましたが、「市長会から国に要望も上がっており、住む地域で差がつくのはよくない」との意見が出され、全会一致採択。（大津議員より）

下諏訪町議会 反対討論は「下諏訪町の国保財政の確保が見えてこない。根本的な制度改正に繋がらない」というもの。花岡議員が「国の制度としてどこに住んでいても医療が保障されることと、ペナルティ廃止を国に求めているのであり、町財政も改善される」と賛成討論し、賛成多数で採択し意見書提出。

岡谷市議会 「国の制度として確立するには更に相当額が税金から使われることになるがそれでいいのか」「500円自己負担金によって、不必要な受診を抑制できるという考え方についてはどう思うか」等が出されましたが、全会一致で採択。（意見陳述した毛利会長より）

茅野市議会 「国への要望は国会でやってもらえ

福祉医療給付制度を国の制度として確立すること、
医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置をすべて廃止することを求める意見書



令和7年3月14日

富士見町議会
議長 牛山基樹

自治体を実施する福祉医療給付制度（子ども医療費助成や障がい者医療費の助成等）は拡充がすすんできました。しかしながら制度の内容をみると、対象年齢、所得制限、障がい種別による違い、窓口での一部負担の有無など、自治体間で大きな格差が生じています。一部負担はたとえ少額であっても受診の抑制につながります。どこで生まれ、どこに住んでいても、誰もがお金の心配なく必要な医療が保障されるべきです。そのためには、国が責任をもって、子どもや障がい者等の医療費助成制度を確立するべきです。

国は、子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置を廃止しました。しかし、その他の医療費助成については減額調整措置が残されています。減額調整措置は自治体の行う医療費助成にたいしてペナルティをかけるものであり、制度拡充の壁となっています。子ども医療費助成と同様に、すべての医療費助成への減額調整措置を廃止すべきです。

以上の趣旨から、以下の項目について求めます。

1. 自治体を実施している福祉医療給付制度（子ども医療費助成、障がい者医療費助成等）を国の制度として確立すること
2. 子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止に留まらず、障がい者等その他の医療費助成に係る同保険の減額調整措置についても、すべて廃止すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

ば」「どのくらいの予算が必要か」「窓口無料で余計な受診が増える影響について」等、否定的な質疑が出されました。討論で賛成は「全国知事会や市長会議も決議されている。自治体間で制度の差が出てしまっていることを解消し、あわせてペナルティは子どものみならず廃止されるべき」（向山議員）と発言。これに対し「受診の抑止効果がはかられるか懸念」「窓口無料化にすることで医療機関での混乱増える心配がある」「自治体毎で制度が違って、統一できるのか」等、4人が国への意見書提出を行わない趣旨採択を主張し、趣旨採択となった。

富士見町議会が可決した意見書
3月14日

4/3 原村長との懇談のための 準備会議をケアハウスひなたぼっこで実施



原村関係者が集まり村長懇談対策会議 4/3 ひなたぼっこ

4/3、社保協が16日に行う原村長との懇談を前に、ケアハウスひなたぼっこ（原村）内で、民商や新婦人、年金者組合、村議等の村関係者が集まり対策会議を行いました。同村はかつて老人医療費の無料化や、子ども医療費窓口無料化を先行実施し、

他の自治体を牽引してきました。

一方、現村政では県が進める国保の統一化に向け、基金や繰越金が他の自治体よりも多額に貯めこんでいるのに、3月議会では低所得世帯にしわ寄せするかたちで、国保税の引き上げを行っています。

また、会議では「冬休み中に行った子ども食堂に100人も集まり、3回に分けて実施した」など、子育て世代の切実な様子も出されました。

牛山村長との初懇談にあたり、入院食費助成も含めた福祉医療費窓口無料化、払える国保税にさせる事、学校給食無償化等に活発な意見交換を行い16日に備えました。

4/16 牛山村長との懇談速報

16日、社保協は牛山村長出席のもとで初めての村長懇談を役場で行いました。社保協側から毛利会長、村田村議、諏訪地方民商（5名）、新婦人原村支部、年金者組合（2名）と事務局の11名。ひなたぼっこ小林専務は文書発言となりました。村側は村長以下、教育長、副村長の村3役、担当課長3名の合計6名が出席しました。

牛山村長はあいさつで、「社会保障制度は住民の生活をささえるための重要な制度であり、当村は高齢者や子育て支援に重点を置いてきている。今回、社保協のみなさんとの懇談で貴重な意見を頂戴できる機会としてとらえている」と時折意見を交えながら懇談をすすめました。



村長懇談であいさつする牛山村長 4/16 原村役場

1時間という短時間ではありましたが、新型コロナ対策やマイナ保険証問題、国保税の引下げ、生活保護対応、子どもの医療費の食費助成、補聴器購入費助成の改善等を取り上げ質問、提言等おこないました。詳細は次号にて報告します。

第96回メーデーに 参加しましょう

日時：5月1日（木）10時～

場所：高島城公園

メーデーは90回を超える歴史の中で、労働者だけでなく、私たち社保協をはじめとした社会保障の充実を願う国民との幅広い共同で行われてきた祭典です。社会保障充実等の諸要求をアピールする機会として参加しましょう。

2025年 5月1日 10時 高島城 労連

第96回諏訪地区メーデー

誰でも、個人でも参加できます

賃上げ、平和、くらし、ジェンダー平等
多様な要求をもちよう！

日時：5月1日（木）10時～11時
終了後、上諏訪駅までパレード
場所：高島城公園（お祭り広場）
雨天時は諏訪市武道館
*のぼり旗やプラカードなどを持って、みなさんでお集まりください
主催：諏訪地区メーデー実行委員会（諏訪地区労連）

12月茅野市議会で採択されたのに意見書提出は否決された「国保財政への国庫負担の増額を求める意見書」は3月議会で可決しました。